

筑波大学新聞

第322号

編集責任 筑波大学新聞
編集代表 福原直樹
TEL: 029(853)2040・6699
E-mail: shinbun@un.tsukuba.ac.jp
月刊

発行所 筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

紙面から

東京シンポ SNSでの政治参加を報告	2
欧州見聞録 アイルランドで憲法改正	3
剣道 世界選手権 竹ノ内が準優勝	8
男子バスケット 関東大学新人戦で2連覇	9
宿舎を問う 使用料一律は不公平等	10
自転車問題 求められる駐輪マナー	11
ミニ特集	5
第41回宿舎祭 笑顔あふれた2日間	
特集	6,7
1345人に調査 「ブラックバイト」存在	

機関の壁越え連携へ

第1回協議会開催



つくば市内の道に街灯が少なく、交通の安全やわいせつ事件の増加に影響しているという課題の解決を目指す「明るいまちづくり協議会」の第1回協議会が6月30日(つくば市役所)で行われ、正式に発足した。会長には筑波大学の澤澤義明教授(シス情報)が、副会長には両宮護准教授(同系)が就任。今年3月につくば市が行った春日地区への街灯新設に続き、課題の解決に向けた抜本的な取り組みが期待される。(田中開二教育学類2年)

協議会には、筑波大のほか筑波研究学園都市交通協議会やつくば中央・北警察署、東京電力などの8機関と、つくば市役所から道路建設課や危機管理課、ひと・まち連携課など関連する9課が参加した。

会長に就任した澤澤教授は都市計画の専門家、本紙の取材に対し「街灯問題はまちづくりの課題であり、幹線道路に面した各機関との連携により対処する必要がある」と明言。「今年度は関係機関や市役所内、有が主な議題となった。協議会には、筑波大のほか筑波研究学園都市交通協議会やつくば中央・北警察署、東京電力などの8機関と、つくば市役所から道路建設課や危機管理課、ひと・まち連携課など関連する9課が参加した。

また副会長に就任した両宮准教授は「どこにどれだけの街灯を設置することが犯罪の防止につながるのかなど、専門である犯罪予防の観点から意見を述べていきたい」と話した。

協議会は年4回開催される予定で、初年度の予算は1000万円。協議会の事務を担当するつくば市道路建設課の課長は「協議会は今後、照度や歩行者の調査

会長・副会長に筑波大教員

結果や、犯罪が起きた場所が一目で分かる犯罪マップなどの多角的なデータに基づき、10年計画で街灯設置を進めていく」と話した。

サッカー女子W杯カナダ大会決勝、日本―米国が7月5日(日本時間6日)、バンクーバーで行われた。大会連覇を狙った日本だったが2-1で敗れ、準優勝に終わった。筑波大学からは熊谷紗希(体専4年)がフル出場した。

試合は前半16分までに4点を奪われる展開。そこから2点を返し追いつけたが、再び突き放され、及ばなかった。

筑波大ではバブリックビューイングが50棟で行われ、雨の中150人以上の学生や教職員らが訪れ、声援を送った。

参加した谷口ほのかさん(社専1年)は「自分と同じ大学の選手が世界を相手に活躍しているのを見て、応援に力が入った。今までになく楽しめたW杯だった」と話した。

また、長島直輝さん(体専2年)は、「た〜さんの学生が一つになって応援をしている姿に感動した」と話した。(岡田優太II社会学類1年、写真も)



熊谷ら「なでしこジャパン」の選手たちに声援を送る筑波大の学生や教職員(7月6日、5C棟で)

「頑張れなでしこ!」筑波大から応援

また、長島直輝さん(体専2年)は、「た〜さんの学生が一つになって応援をしている姿に感動した」と話した。(岡田優太II社会学類1年、写真も)

紫峰会 大学移行に前向き

学生向け説明会は24日

大学公認サークルへの助成金支給などを行う筑波大学の学生後援会「紫峰会」の理事会が6月20日に行われ、紫峰会を大学の運営下に移行する大学側の提案について、前向きに話し合いを進めていくことを決めた。大学側は7月24日に玉川信一(副学長)が出席して学生向けの説明会を開催する予定。紫峰会は説明会が開催され次第、臨時の理事会を開き、本格的な移行を目指す。

(田中開二教育学類2年)

紫峰会は大学から独立し、保護者などを会員とした任意団体で、1977年に設立。保護者などを会員とした任意団体で、1977年に設立。保護者などを会員とした任意団体で、1977年に設立。

紫峰会は年4回開催される予定で、初年度の予算は1000万円。協議会の事務を担当するつくば市道路建設課の課長は「協議会は今後、照度や歩行者の調査

大学「移行で業務安定」

6月20日の理事会には、大学側から玉川副学長らが出席し、移行の利点について「大学運営下の方が業務を安定して継続できること」などを説明。大学が早期に学生向け説明会を実施

紫峰会は年4回開催される予定で、初年度の予算は1000万円。協議会の事務を担当するつくば市道路建設課の課長は「協議会は今後、照度や歩行者の調査

日本人と留学生 宿舎で同居

平砂地区に11棟新設へ

筑波大学は平砂地区に日本人と留学生が同居するシェアハウス型宿舎「インターナショナルハウス(仮称)」の設置を決めた。2017年4月から利用を開始する。平砂テニスコート横の敷地約1万平方メートルに3階建ての棟を計11棟(収容人数約500人)建設する予定で、近く共用施設「コミュニティプラザ」も新設、文化交流事業などを行う。一方、一の矢地区では、17年3月末までに新たに学生宿舎5棟を改装し、留学生数の増加を目指す。(添島香苗II生物学類3年10面に関連記事)

17年4月から

同ハウスは、留学予定者や異文化交流を求める日本人学生らが主な入居対象。17年4月から入居を始める。日本人学生と留学生の計5人で一つの住居スペースを共有するが、居住スペースは、5つの個室と、共用のリビングダイニングキッチン(LDK)、トイレ2室、シャワールーミーで構成される。約12畳のLDKには冷蔵庫、電子レンジ、掃除機、食卓などを備え、異文化交流を目指す。

個室は約6畳で机椅子、ベッドのほか本棚、姿見、電気スタンド、カーテンなどを装備。個室への入室にICカードキーを



設置が決まった宿舎のイメージ図=学生生活課提供

利用したり、個室間の仕切りには遮音性の高い素材を使用するなど、入居者のプライバシーにも配慮する。家賃は大学周辺のアパートの家賃相場などを考慮し、利用しやすいように設定される。生鮮食品や弁当などが販売され、買い物代行サービスなども行われる予定だ。

一方、一の矢地区では滞在期間が1年以内の留学生向けに、新たに学生宿舎5棟を改装・整備していく。16年までに33、35号棟を、17年までに31、32号棟を改装。現在設置しているベッド、机、椅子に加え、エアコン、冷蔵庫、本棚、カーテンなどを新たに設置する。

留学生向けの宿舎を整備するねらいは、国際化の推進。また、老朽化が進んでいる既存の宿舎も今後の運営方針を検討していく。

SNSによる政治・社会参加 アジアでも研究進む

国際的シンポジウム初開催

アジアの市民は今、SNSをどう使って政治や社会に参加しているのか……。日本や中国、台湾、香港などの研究者が一堂に介した「ソーシャルメディアと市民参加に関する東京シンポジウム」が6月28日、筑波大学東京キャンパス文京校舎で開かれた。SNSを多用した米大統領選やアラブの春などを対象に、欧米ではSNSによる市民の政治・社会参加の研究が進むが、アジアを研究対象にした国際的シンポジウムは初めて。

シンポジウムは海後宗男准教授(人社会系)が企画。研究者9人が発表を行った。

その中でマカオの研究者は昨年5月、公務員の年金法案に抗議して数千人が参加したデモを報告した。



SNSでの市民の政治参加を議論した東京シンポジウム(6月28日、文京校舎で)

加した現地学を分析。主に高学歴の若者がフェイスブックを使い、デモを組織した経緯を報告した。また香港で昨年9〜12月、新選挙制度に反対した市民が行ったデモを分析した研究者も「SNSを通じ、デモ参加者に応援メッセージが入りデモが強化された」と指摘、アジアでもSNSによる市民の政治参加が進む実態が報告された。

一方、国立情報学研究所の小林哲郎准教授(社会心理学)は、日本初のネット選挙となった2013年参院選を分析。当時「ネットの効果は限定的」と報じられたが、SNSを選挙などの意見交換に利用した人(有権者の約10%)の間では投票率が約11%高まるなど「ある程度(SNSの)効果があった」と話した。また、海後准教授は現在「つばは市を進める」オンラインコミュニティを説明。市民がSNSを通じ交流を

進める状況を報告した。参加者の一人、カク・ンジン准教授(ミシガン大)はシンポの意義について「過去、SNSを使った市民参加に関する研究の中心は欧米だったが、アジアでも重要な研究は進んでいる。これまで研究者同士の間で交流の機会が限られていたが、今回のシンポは今後日本が拠点となって研究を発信する重要な契機だ」と話している。

海後准教授によると、来年6月には、国際コミュニケーション学会が福岡市で開催される予定。同准教授らは同学会に向け、さらに研究や研究者交流を深めたい意向だ。

助教を海外に派遣 最先端の環境で研究

若手研究者である助教を海外に送り、最先端の研究に取り組んでもらう筑波大独自の制度「国際テニエアトラック」で派遣された研究者が活躍している。6月22日には同制度でテキサス大学サウスウェスタンメデイカルセンターに派遣された木村航助教(生命領域学際研究センター)が同大

の研究者と共同執筆した論文が、科学雑誌「ネイチャー」のウェブ版に掲載されている。制度を企画した馬場忠教授(生環系)学長特別補佐は「制度を利用して研究者が、将来の筑波大の研究を支えてほしい」と期待している。

同制度は1年前にスタート。現在、生環系、人社会系

人間系などから21人の助教が海外に派遣されている。多くの場合、日本の大学では助教は任期付きで雇われるが、その間研究以外の仕事が多く、研究を進めた海外に出て研究することの難しい。こうした状況の改善のため始まった同制度では、2〜4年間筑波大の支援を受けながら海外の最

先端の環境で研究に専念できる。著名な科学雑誌に論文が掲載されるなどの成果を上げた場合は、審査に合格後、任期のない雇用となる。

同制度について木村助教は本紙の取材に「世界中から優秀な研究者たちが集まる環境で仕事ができ、貴重な体験をしている」と答えた。木村助教は心筋細胞を研究しており、その進展次第では、心筋梗塞などでダメージを受けた心臓への新たな治療法につながる可能性があるという。(山野辺拓実 社会学類2年)

過疎地の活性化事業 コンパクトシティ目指す

大澤教授ら

筑波大学は大澤義明教授(シス情系)を中心に、過疎化や高齢化が進む北海道の津別町と連携し「まちなか再生事業」に今年4月から取り組んでいる。町内のインフラ稼働率などを調査し、町民と共に街づくりを考えるワークショップを津別町は北海道東部の内陸にあり、東京都の約三分の一に当たる広い面積を有する。1960年に約1万6000人だった人口は約5000人に減少し、住民の約4割が65歳以上。町の中心地が「シャッター商店街」となるなど深刻な



津別町

大学は美味しい!!フェア



米使用のケーキ「ライス・シニアスト」

「お米スイーツはいかが?」

全国の大学が、研究や地元の特産物を生かした食品を開発・販売している。農産物の方針と、米の特産を生かした新たな食品の開発を行う北村教授の研究が一致し、今回高島屋(東京都渋谷区)で開催された。筑波大学からは北村豊教授(生環系)の食品バイオマス工学研究室が、米を利用したスイーツや飲み物を出品。6日間で計2500個以上を販売した。

同研究室が出品したのは、米を使い独特のもちもち感を出したプリン「プディングデザート」と、(つくばは市下岩崎)で、シニアストはうらら洋菓子店(東京都台東区)で販売している。(森脇慎一 写真も。12面に関連写真)

催事

まつりつくば2015スポーツパーク

8月22(土)〜23(日)につくばエキスポセンター(つくば市吾妻)の広場を中心に開催される。この企画は「まつりつくば2015」と同時開催。つくばエキスポセンター内の正面広場の特設バスケットコートでバスケットボールの大会や、来場者が無料で遊べる「スケートボード体験ブース」などが行われる予定。

問い合わせ 〓 sawanoni@waisports.com

筑波大学オリエンテーリング大会

9月23日(水)に筑波大学筑波キャンパス内で開催される。集合は筑波大中央体育館体操場。オリエンテーリングは、地図とコンパスを持って、地図内の決められた地点を順に回り、そのゴールタイムを競うスポーツ。

午前8時に開場。午前の部は10時、午後の部は1時にそれぞれ開始。

競技者が参加する大会とは別に、午後から筑波大生や職員、つくば市民向けにオリエンテーリングの体験会を行う。体験会の参加費は無料。

問い合わせ 〓 tsukuba.comp35th@gmail.com
詳細 〓 http://tsukuba.comp35th.wix.com/tsukuba35th (大会ホームページ)

アプリで自動的に日記 位置情報や写真使い

筑波大学大学院システム情報工学研究科計算知能・マルチメディア研究室の学長は、iPhoneで撮った写真や位置情報を自動的に日記に組み込んで自動的に日記を作成するアプリ「Four Diary」を開発した。利用者はiPhoneで撮った写真や位置情報を自動的に日記に組み込んで自動的に日記を作成する。利用者はiPhoneで撮った写真や位置情報を自動的に日記に組み込んで自動的に日記を作成する。

「Four Diary」は、iPhoneのGPS機能に基づき利用者が滞在していた場所を推測し、撮った写真や、その地点で撮影されたネット上の写真を組み合わせて保存する。利用者がiPhoneで撮った写真や位置情報を自動的に日記に組み込んで自動的に日記を作成する。

さらに、ツイッターアカウントなどと連携し、利用者の投稿に関連するニュースや、趣味・嗜好に近しい隣のおすすめの場所など、利用者が知りたい情報を予測する。この機能を使えば、見知らぬ土地の有名な観光スポットや、住み慣れた土地のあまり知られていないの改善や追加を行うという。計算知能・マルチメディア研究室の延原准教授(シス情系)は「現在のアプリはiPhoneのiOS9以降しか対応していないが、将来的にはAndroid版のアプリも開発したい」と話した。(徳永翼 日本語 白文化学類1年)



(上)日記アプリのメイン画面、(下)アプリのダウンロードサイトのQRコード



4つの楽器を同時に演奏

フォルクローレサークル南



さまざまな曲を演奏したメンバー (6月14日、アルスホールで)

中南米の民族音楽を演奏する、筑波大学フォルクローレサークル南の「第14回フォルクローレコンサート」が、6月14日にアルスホール(つくば市吾妻)で開催された。同サークルのOB・OGや、筑波大学フォルクローレ愛好会の会員らも出演した。

第1部はフォルクローレの代表的な曲「コンドルは飛んでいく」で開幕した。第2部は、フォルクローレ愛好会OBの酒井亮祐さん(平成22年度生命環境科学研究所修了)の演奏で始まった。J・ペロニ作曲「コーヒールンバ」とフォルクローレの有名な楽曲「サンビト」を「ワンマンバンド」で披露。これは、曲で使う複数の楽器を全て一人で演奏する方法。酒井さんはギター、スネアドラムに加え、複数の管を束ねた笛「サンポニーヤ」振って音を出す楽器「チャフチャス」の4つを同時に演奏した。その様子が踊っているようでもあり、見ただけでも観客を楽しませた。

最後は出演者全員で「アパシスの夢」を演奏。会場からは拍手が起り、最後まで盛り上がった。出演した山本なる美さん(人文3年)は「3年生で演奏した曲が印象に残っている。今まで一緒にやってきたメンバーと一体になってよかった」と話した。(廣岡里穂 人文学類2年、写真)

ジャグリング7演目 巧みな技 次々に



ペアで演技を披露する Sheepの団員 (5月20日、大学会館で)

ジャグリングサークルSheepの春公演が、5月20日に大学会館小ホールで行われた。演者は玉や箱などの道具を空中で自在に操り、会場を訪れた約40人の観客を楽しませた。

公演では、種類に富んだ7演目が披露された。シガーボックスと呼ばれる箱を複数並べて持ち、落ささずに空中で順番を入れ替えて幻想的な軌跡を描くなど、巧みな技が次々に飛び出した。

中でも会場を沸かせたのは、前田悠甫さん(障害2年のけん玉)を使った演目。けん玉は、通常持つ部分と玉が糸でつながっている。だが同演目で使われたのは、操るのがより難しく、糸の無いけん玉。2個の玉を、両手に持ったけん玉で交互に受け取るなど複雑な技も鮮やかにこなした。

演技を終えた前田さんは「2月から動画を見たりしながら技を練習していた。日ごろの成果を発揮できてよかった」と満足げに話した。

筑波大学吹奏楽団の第73回定期演奏会が、6月6日にパホール(つくば市吾妻)で行われた。演奏会には2部構成。第1部ではP・スパーク作曲「怪人」など、有名な曲目を中心に披露。ピエロに扮した団員が登場したり、垂れ幕や照明を使った演出もあつた。雄大な曲から繊細な曲まで、さまざまな曲目も楽しませた。

ピエロ姿の団員も 筑波大学吹奏楽団

和辻哲郎著 『古寺巡礼』

会場を訪れた同楽団のOGは「演出が凝っていて、口も素晴らしい。後輩たちの成長を感じた」と話した。また、団員でフルート奏者の松田かのんさん(知識3年)は「2曲でソロパートを任せられ、練習に励んできた。吹奏楽のための『越中幻想』では和音の雰囲気を出すのに苦労した。『オペラ座の怪人』では練習の時より気持ちよく演奏できた」と話した。(加藤未悠 社会学類1年、12面に関連写真)

同性婚合法化で割れる世論



欧州見聞録

アイルランド

【ダブリンで平嶋健人 社会学類4年、写真も】アイルランドで5月22日、同性婚を認める憲法改正の賛否を問う国民投票が行われ、賛成62%で承認された。

同性婚は近年、欧州を中心に法律で認められつつあるが、国民投票で合法化されたのは世界初。1月、同性愛者であることを告白した同国のバラッカー保健大臣は「歴史的な日になった。これはただの国民投票ではなく、社会的な革命だ」と話した。

同性愛者には異性同士の結婚と同程度の権利が認められていたが、養子縁組が認められないほか、憲法に同性婚の規定がなく不平等だと指摘されていた。今回、与野党がそれぞれ「平等な結婚の権利」を支持したことから、国民投票が実現した。

同性の国民の8割強はカトリック教徒で、93年まで同性愛が犯罪とされるなど、カトリックの影響が強いことで知られる。今回投票でも、カトリック教会や保守的な市民団体が「自然の摂理に反する」などとして反対運動を繰り広げた。しかし近年、古い価値観を嫌う若年層を中心に教会離れが進んでいたほか、国内で聖職者の児童への性的虐待が次々と発覚したことで、教会の影響力が弱体化していた。

同国では2011年の法改正により、同性愛者には異性同士の結婚と同程度の権利が認められていたが、養子縁組が認められないほか、憲法に同性婚の規定がなく不平等だと指摘されていた。今回、与野党がそれぞれ「平等な結婚の権利」を支持したことから、国民投票が実現した。

同国では2011年の法改正により、同性愛者には異性同士の結婚と同程度の権利が認められていたが、養子縁組が認められないほか、憲法に同性婚の規定がなく不平等だと指摘されていた。今回、与野党がそれぞれ「平等な結婚の権利」を支持したことから、国民投票が実現した。

投票日の様子

アイルランドで国民投票が行われた日、私は首都ダブリンにいた。

街で目についたのは街灯に貼られた「VOTE YES」「VOTE NO」などと書かれているポスター。ES(賛成票を入れよう)や「VOTE NO」と書かれたポスターの数々。これまでに30回以上の国民投票が行われた同国では、投票運動の制約が緩い。

ダブリンは保守的な高齢者が少ないこともあって、歩道でパンフレットを配る市民団体も賛成派が多く、市内での賛成票は7割を越えた。投票の翌日には、多くの店舗の軒先に同性愛者や性的少数者の象徴である虹色の旗が掲げられ、市内の広場で集会が開かれるなど、街は祝福ムードに沸いていた。

しかし、大敗を喫したカトリック教会側の雰囲気は暗かった。「同性婚反対は差別だと批判する人々は、聖書を読んだことがあるのか」。市内の教会の礼拝に参列していた男性は、同性婚を是とする世論に疑問を投げかけた。男性が見せてくれた教会の機関誌には「憲法改正の間違いだ。断り、社会は深刻な混乱に陥る」「同性愛によって人々の尊厳は損なわれる」など、辛辣な言葉が並んでいた。賛成派が主張する「正義」とは正反対の解釈だ。

約4割が反対票を投じたことから分かる通り、今なお世論は割れる。「大多数は憲法改正を喜んでいるが、(宗教を原因に)一部で対立も生んでいる。伏し目がちに語った男性の姿は、アイルランドの苦悩を表しているように見えた。



ダブリン市内の街灯に張られたポスター。「VOTE YES」「VOTE NO」などと書かれている (5月22日)

欧州に長期滞在中の平嶋健人前編集長が、現地の状況を伝えます。

谷口孝介教授(和漢比較文学) 同志社大学大学院単位取得満期退学。2005年筑波大学で博士(文学)取得。10年より現職。附属図書館副館長を兼任。著書に「菅原道真の詩と学問」(博文館)など。

『古寺巡礼』の中宮寺観音のくだりは、その後に「とうとう中宮寺がすんだ」と感慨深き書き記すように、本書全体のエピソードとも言える箇所。一見散漫な印象に終始しているかに見えるこの書に通奏するテーマを確認している所なのです。聖女にお目にかかる」という感情に基づき感動的に美の実感が叙述され、最後に「外来の芸術に我が国自然の影響を感じた」と結んでいます。

この記述と論旨とがこの書を一貫する方法でありテーマだと考えます。外来の文物だけではなく思考様式をも含めて外来文化をどのように古代日本人が自己のものとして受容したのか、そのことを「古美術」を体感することによって叙述したものがこの『古寺巡礼』なのです。



『古寺巡礼』

和辻哲郎著 (ちくま学芸文庫)

大正の国際感覚表れた名著 『古寺巡礼』の中宮寺観音のくだりは、その後に「とうとう中宮寺がすんだ」と感慨深き書き記すように、本書全体のエピソードとも言える箇所。一見散漫な印象に終始しているかに見えるこの書に通奏するテーマを確認している所なのです。聖女にお目にかかる」という感情に基づき感動的に美の実感が叙述され、最後に「外来の芸術に我が国自然の影響を感じた」と結んでいます。

大正の国際感覚表れた名著

『古寺巡礼』の中宮寺観音のくだりは、その後に「とうとう中宮寺がすんだ」と感慨深き書き記すように、本書全体のエピソードとも言える箇所。一見散漫な印象に終始しているかに見えるこの書に通奏するテーマを確認している所なのです。聖女にお目にかかる」という感情に基づき感動的に美の実感が叙述され、最後に「外来の芸術に我が国自然の影響を感じた」と結んでいます。

記者の声



林健太郎

筑波大学で関係者に取材した。沖縄県出身の安里香菜さん(比文3年)の出身地は普天間基地から約30

沖縄の基地負担軽減へ 日米地位協定の改定を

沖繩県・普天間基地(宜野湾市)の辺野古沖(名護市)への移設を進める政府と、移転に反対する沖繩県の翁長雄志知事との対立が深まっている。一連のニュースを見ていて、私は市街地にある普天間基地の危険性をなくす意味でも、移設は容認したい気持ちになった。だがその場合の条件は沖繩の負担を軽減するため、日米地位協定を改定することだと思

離れた北中城村。米軍の飛行ルートだ。その安里さんの話の中で最も印象的だったのは、現地での生活が危険と隣り合わせだということだ。安里さんは中学生の時に学校で、超低空飛行の米軍機に遭

受け入れを真剣に検討してほしい」と話した。だが現在、日本国内で普天間基地の受け入れを表明する自治体は皆無だ。09年に県外移設を訴えた鳩山由紀夫元首相も、多くの候補地を検討したがいずれも地元の反発を受けるなどして、辺野古以外の代替地を探すことはできなかった。辺野古移設に賛成する別の筑波大の教授は、「今は、世界一危険な普天間基地の周辺の住民のことをまず考えなければならぬ。辺野古は長い年月をかけて移転場所が決まった。他に受け入れ先が見つからない中、一時的にでも辺野古へと移設すべきだ」と話す。私もこの意見に賛成だ。辺野古沖は住宅地か

「シルバー民主主義」という言葉が話題だ。少子高齢化や若者の投票率低下に伴い、高齢者に配慮した政策が優先的に行われている現代の政治を皮肉った言葉だが、政府はこの現状を打開すべく6月17日に公職選挙法を改正し、投票年齢を18歳以上に引き下げた。若者の投票率が増加すると期待されているが、筑波大学生はどのように考えているのか。中央図書館周辺と第一エリア食堂で聞いた。油布夏夏(人文学類3年、加藤未悠(社会学類1年、山野辺拓実(同2年))

【社会学類1年・男性】投票年齢を引き下げたとしても、18歳や19歳の人が投票に行くとは限らない。もっとわかりやすく報道し候補者が若者向けの政策を打ち立てなければ、若者の発信すれば若者も政治に興味を持つのではないかと。【社会学類1年・女性】投票年齢が下がるとも若者にとって政治は難しくも変わらないと思う。政治

【社会学類1年・男性】18歳から投票できるようになったのなら、高校が授業の一環として生徒が投票所に行かせれば、確実に投票率は上がる。教育としての投票という方法があっても良いと思う。【社会学類1年・女性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

筑波時評

昨年7月、教育再生実行会議は、実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化を求めた。これを受けて文部科学省内に設置された「実践的な職業教育を行う新たな高等教育機関の制度化に関する有識者会議」は、今年3月、「審議の

「審議のまとめ」によれば、質の高い専門職業人を養成することを目的とする機関は「既存の大学等と比肩する高等教育機関」として想定され、「学士」や「短期大学士」相当の学位を授与する権限が与えられる。このような新たな機関

「審議のまとめ」によれば、質の高い専門職業人を養成することを目的とする機関は「既存の大学等と比肩する高等教育機関」として想定され、「学士」や「短期大学士」相当の学位を授与する権限が与えられる。このような新たな機関

【社会学類1年・男性】投票年齢が下がるとも若者にとって政治は難しくも変わらないと思う。政治

【社会学類1年・男性】18歳から投票できるようになったのなら、高校が授業の一環として生徒が投票所に行かせれば、確実に投票率は上がる。教育としての投票という方法があっても良いと思う。【社会学類1年・女性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

【社会学類1年・男性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

「職業学位」の創設を 文系学部改廃こそ警戒

藤田晃之教授(キャリア教育)



人間系・教授。筑波大学大学院単位取得退学、博士(教育学)。同大准教授、国立教育政策研究所総括研究官などを経て、2013年から現職。主著に「キャリア教育基礎論」(実業之日本社)など。

の導入を巡っては、「すでに役に立つものは、すでに役に立たなくなる」という自明の理を無視した拙速な提言であり、学術研究の発展という使命を担ってきた大学を中核とする高等教育機関としてふさわしくない」との批

大学において「専門職業人養成機能の更なる量的拡大に比重を置いて対応していくことには限界がある」と指摘しており、大学教育の価値と独自性を浸食しようとはしていない。また、授与する学位については、現行の「学

【社会学類1年・男性】投票年齢が下がるとも若者にとって政治は難しくも変わらないと思う。政治

【社会学類1年・男性】18歳から投票できるようになったのなら、高校が授業の一環として生徒が投票所に行かせれば、確実に投票率は上がる。教育としての投票という方法があっても良いと思う。【社会学類1年・女性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

【社会学類1年・男性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

反射鏡

選挙権年齢引き下げ

「シルバー民主主義」という言葉が話題だ。少子高齢化や若者の投票率低下に伴い、高齢者に配慮した政策が優先的に行われている現代の政治を皮肉った言葉だが、政府はこの現状を打開すべく6月17日に公職選挙法を改正し、投票年齢を18歳以上に引き下げた。若者の投票率が増加すると期待されているが、筑波大学生はどのように考えているのか。中央図書館周辺と第一エリア食堂で聞いた。油布夏夏(人文学類3年、加藤未悠(社会学類1年、山野辺拓実(同2年))

【社会学類1年・男性】投票年齢が下がるとも若者にとって政治は難しくも変わらないと思う。政治

【社会学類1年・男性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

海と山どっちが好き?

もつす夏休み。家族や友人とどこかに出かける計画を立てている人も多いだろう。この市には、「西の富士、東の筑波」と称される日本百景の一つ、筑波山がある。また、県内には「快水浴場百選」に選ばれた大洗サンビーチなど、多くの海水浴場がある。筑波大学生には山好きが多いのか、それとも海好きが多いのか。中央図書館前で聞いた。(山本勇太(社会学類1年、田中開(社会学類2年、深作歩美(生物学資源学類2年))

【社会学類1年・男性】投票年齢が下がるとも若者にとって政治は難しくも変わらないと思う。政治

【社会学類1年・男性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。



イラスト=姉崎信(心理学類3年)

【社会学類1年・女性】投票年齢が下がるとも若者にとって政治は難しくも変わらないと思う。政治

【社会学類1年・女性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

【社会学類1年・女性】投票率自体は下がるかも知れないが、18歳でも20歳でも判断力は大差ないと思うので、18歳で選挙に行きたい人がいるなら制度を変えても良いと思う。

1345人に調査

学生発の労組悩みに応対

「ブラックバイトユニオン」は、学業に配慮せず、学生を酷使するブラックバイトに対抗するため、昨年8月に全国の大学生と大学院生で結成した労働組合。活動内容はブラックバイトに悩む学生からの相談の対応、ブラックバイトに関する情報の発信、労働法

ブラックバイトチェックシート

- 賃金の計算が1分単位ではない
- 売り上げのノルマなどを課されている
- バイトを減らす理由として、「試験勉強」は認められない
- 休憩はとれずたりとれなかったり
- 実際の労働条件が、募集の際に提示されたものと違った
- 労働条件を裏面で渡されなかった
- アルバイトの上司・先輩から暴言・暴力・嫌がらせを受けた
- アルバイト間で暴言・暴力・嫌がらせを受けた
- シフトや勤務日数、勤務時間を一方的に減らされた
- 希望していないシフトに入れられた
- 商品やサービスの買い取りを強要された
- ミスをした分を支払われた
- 準備や片付けの時間に賃金が支払われなかった
- 仕事が延びても残業代が時間通り支払われなかった
- 就業規則がいつでも確認できるようにない
- 賃金が一方的に引き下げられた
- 賃金が毎月決まった日に支払われなかった
- 残業代が割増賃金ではなかった
- 給与明細書がもらえなかった(パソコンで確認できる場合を除く)
- 1日に6時間を超えて働いても休憩時間がもらえなかった
- 仕事上のケガの治療費を自己負担させられた

「ブラックバイトユニオン」サイト内の「ブラックバイトチェックシート」

指導塾のユニオンも立ち上げたが、既に100人以上の相談が寄せられている。相談員は、相談員となる。相談員は、弁護士や大学教員から労働法などを教わり相談の参考にしていくという。

同ユニオンの事務局長を務める坂倉平さんによると、最近では個別指導塾でバイトする学生からの相談が圧倒的に多いという。これを受け、今年6月から個別指導塾のユニオンも立ち上げたが、既に100人以上の相談が寄せられている。相談員は、相談員となる。相談員は、弁護士や大学教員から労働法などを教わり相談の参考にしていくという。

「個別指導塾はほとんど大学生によって成り立っており、決して良い労働条件ではない」と坂倉さんは語る。学生がブラックバイトを継続してしまう原因として、坂倉さんは「個別指導塾に限らず、サービス産業の多くの企業ではコスト削減のため正社員が極端に少なく、ほとんどバイトの学

視点

今回のアンケート調査結果で、筑波大学の4人に1人がいわゆる「ブラックバイト」の特徴を持つバイトを経験していることが明らかになった。

学生の半分はあくまでも学業だ。だがアンケートでは、バイトが学業に悪影響を与えていると答えた人が一定数いた。また、取材で過酷な環境でバイトをしていても、バイトに満足している学生がいることが分かった。学生の半分である

大学でも対策を

「被雇用者としての権利を意欲し、バイトにとられすぎないようにすることが大切だ」と語った。

手紙

能狂言は室町時代より続いている、世界最古の伝承演劇です。今では世界無形遺産にも指定され、日本を代表する演劇の一つとなりました。

師匠は違つてしか言ってくれないので、五感を駆使して、必死で盗み取るしかないわけです。稽古の間、ひたすら頭の中で「なせ」を繰り返して、より高次かつ広範囲な気がつきへと昇華していくわけ

私たちは長い伝承の中で気付いてきたのでしょ。何かと効率化が求められる現代とは、対極にある習得のスタイルかもしれません。そして不思議なもので、ある臨界点を越える

と、ふっとセリフや所作の二つひとつが腑に落ちるのです。言い換えると、600年の間、自分と同じように狂言を研さんしてきた人達の思いが同期

筑波自然図鑑

◇ゴマダラカミキリ◇



撮影地=一の矢学生宿舎

夏、建物の明かりにたくさんの虫が飛んでくる。写真のゴマダラカミキリも、夏の灯火に飛んできた虫だ。ゴマダラカミキリは、黒に白のまだら模様が綺麗なカミキリムシ。しかし彼らは、ヤナギやミカ

深い学び

能狂言は室町時代より続いている、世界最古の伝承演劇です。今では世界無形遺産にも指定され、日本を代表する演劇の一つとなりました。

師匠は違つてしか言ってくれないので、五感を駆使して、必死で盗み取るしかないわけです。稽古の間、ひたすら頭の中で「なせ」を繰り返して、より高次かつ広範囲な気がつきへと昇華していくわけ

私たちは長い伝承の中で気付いてきたのでしょ。何かと効率化が求められる現代とは、対極にある習得のスタイルかもしれません。そして不思議なもので、ある臨界点を越える

と、ふっとセリフや所作の二つひとつが腑に落ちるのです。言い換えると、600年の間、自分と同じように狂言を研さんしてきた人達の思いが同期

陽子線医学利用研究センター

陽子線でがん治療 体への負担減らす

がんの治療には主にエクス線が利用されるが、エクス線は正常な臓器も傷つけてしまう特性があり、がんの部位によっては副作用が強く出てしまうケースもあった。陽子線治療はこれらを最小限にすることができ、患者の生活を保ちながら治療できるため、がん患者のニーズに合う治療法として注目されている。

陽子線治療は、水素の原子核である陽子を「加速器」で一気に光速の約60%まで加速した陽子線を用いて治療を行う。筑波大では開学当初から陽子線治療に着目し、1983年には体の深部にあるがんに対する臨床研究を世界に先駆け

子線は狙った深さで止まるため、がんの病巣以外に傷つけずに治療できる。体への負担が少なく、通院での治療も可能だ。だが、陽子線治療を行うまでの過程はかなりの複雑だ。がんの病巣だけを狙う

開始。国内で最も長い歴史を持つ陽子線治療の拠点として、これまでに4000件を超える治療をしてきた。陽子線治療の最大の利点は、がんの病巣をピンポイントで攻撃できることだ。体に照射された陽

生物学的な影響を考慮する放射線生物学の教員も治療に参加してきた。その一人、同センター医学物理学グループの榮武二教授(医学部医学科)は「さまざまな分野の研究者が連携し患者にとって最適な治療法を考え、実行し

生だだけで運営されていることを挙げる。責任の大きい仕事も任されるため、辞めたいと思っても「自分が抜けた穴を誰が埋めるのだらう」と罪悪感を覚えてしまい、辞められなくなるケースが多いそうだ。



陽子線治療の様子=陽子線医学利用研究センター提供

和泉流狂言師

山下浩一郎さん



しかし、能狂言の大成者である世阿弥は「よき劫の住して、悪き劫になる所を用心すべし」という言葉も残しています。これは「良いときと悪い時に安住するな、常に変革せよ」という意味。努力して積み上げたもの

を、自らの手で否定し崩すことは相当の覚悟が必要ですが、しがみつき続けることの方がリスクが高いのです。長い歴史を持つ伝統芸能の世界でさえ、「常識」や「伝統」の名に固執することを悪しものとしています。

剣道 世界選手権 竹ノ内 個人戦準優勝



得意の「メン」で圧倒

【日本武道館(東京都千代田区)で小野憲司(社会学類2年、写真も。12面に
関連写真) 剣道の世界選手権が5月29-31日に開催され、56カ国・地域の600
人以上が腕を競った。日本代表として昨年11月の全日本選手権で史上最年少優勝
を果たした竹ノ内佑也(体専4年)が出場し、個人戦で準優勝(団体戦で優勝した。
警・平成21年度体専卒)と 決勝の相手は、昨年の全

個人戦

竹ノ内は予選から順調に
勝ち続け、相手に一本も取
られず準決勝に進出。筑波
大OBの西村英久(熊本県
警・平成21年度体専卒)と
対戦した。積極的に攻めに
出た西村に先にコテを決め
られたが、竹ノ内は冷静さ
に、歩も譲らず試合時間の
5分が過ぎ延長戦に突入。
開始直後、竹ノ内が固い
をうめると一瞬の隙をつか



個人戦決勝で攻撃の機会をうかがう竹ノ内(右)
(5月29日、日本武道館で)

記者の目

3年に一度開催される世
界選手権。今大会は18年ぶ
りに日本で開催され、日本
武道館(東京都千代田区)
には世界各国の剣士が集
い、会場は熱気に包まれた。
1970年に始まった世
界選手権で、日本剣士は目
覚ましい戦歴を残している。
個人戦の歴史優勝は男
女ともに総なめし、男子団
体戦では15回、女子団体戦
では女子大会が始まって以
来7回全てを制している。
日本は圧倒的な強さで、武
士の時代から「剣の文化」
を培ってきた国としての威
厳を保ち続けている。
昨年日本選手権で優勝
した竹ノ内佑也(体専4年)
には「最強国の王者」とい
う重いプレッシャーがのし
かかった。これまで国内で
は活躍を見せてきたが、世
界の剣士に挑むのは今回が
初。だが慣れない相手にも
本領を発揮、個人準優勝・
団体優勝を果たした。
竹ノ内の強さは鍛え抜か
れた精神力に支えられてい
る。厳しい稽古を乗り越え、
いかなる状況においても
冷静さを忘れない自己責
任の精神を垣間見た。
(小野憲司)

「武士の精神」見た

1000級のウルフ・アロ
ン(2年)だったが、気迫で
押し込み、指導士の差で勝
利した。
女子は準決勝の帝京大戦
で、次鋒戦で一本を取らな
れたが、副将の古屋が技あ
りを奪い優勢勝ちし追い上
げた。だが大将戦は引き分
けで一步及ばなかった。
増地克之監督(体育系・
准教授)は「一番伝統のあ
る学生大会で初優勝でき、
感無量。4年生がチームを
けん引したことが優勝につ
ながった。次の全日本学生
体重別団体優勝大会(10月
24-25日)でも優勝を目指
すと語った。(齋藤優斗(同
社会工学類2年)

学生柔道優勝大会

柔道

体重無差別の団体戦で争
う全日本学生優勝大会が6
月27-28日に日本武道館
(東京都千代田区)で行わ
れた。男子は決勝で大会7
連覇中の東海大を破り、国
立大として初の優勝を果た
した。女子は3位だった。
優秀選手に男子は永瀬貴規
(体専4年)と黒岩貴信(同
4年)が、女子は古屋梓(同
4年)が選ばれた。



国立大初の優勝を果たし喜ぶ部員たち(6
月28日、日本武道館で) = 柔道部提供

国立大初の日本一 男子 7連覇の東海大破る

順調に勝ち進んだ男子の
準決勝の相手は、昨大会
で敗北した日本大。先鋒が
優勢負けした後は引き分け
が続いた。だが大将戦で黒
岩が大外刈りで一本勝ちを
収め、勝利数で並んだ場合
は一本勝ちが多いチームが
勝利というルールに従い、
決勝に進出した。
決勝では、先鋒の永瀬が
小外刈りで技ありを奪い優
勢勝ちを収め、次鋒の橋高
海人(同4年)が内股透か
しで一本勝ちするなど序盤
はリード。だがその後は東
海大に追いつかれ、決着は
代表戦にもつれ込んだ。筑
波大の代表は普段81kg級を
戦う永瀬。東海大の代表は

れコテを打ち込まれ、敗戦。
世界王者の座は逃した。
2連覇中の王者として臨
んだ日本は、予選でカナ
ダ、スウェーデン、ノル
ウェーを下し決勝トーナメ
ントに進出。1回戦でハワ
イ、2回戦でブラジルに勝
つことなく、逆に気迫で相
手を圧倒した。堂々とした
立ち会いに、観客は惜しみ
なく拍手を送った。
剣道の目的は「人間の形
成」と言われる。武士は剣
を使うに当たり、その道理
を学ぶ「剣道」を通して心
身の修練を積み、確固た
る自己の形成を目指した。
日々の厳しい稽古を乗り越
え、いかなる状況におい
ても冷静さを忘れない自己
責任の精神を垣間見た。
(小野憲司)

関東大学 2部リーグ 3位で折り返し



【流通経済大学サッカー
場(茨城県龍ケ崎)で森
脇(社会学類3年、写真
も)4月から行われている
関東大学2部リーグ前期が
終了した。創部史上初めて
2部リーグを戦っている筑
波大は7勝3敗1引き分け
の勝ち点22で3位につけて
いる。だが昇格圏の2位
関東学院大までは勝ち点5
差で、小井土亮監督(体
育系・助教)は「重く受け
止めないといけない結果」
と語っている。
6月13日に流通経済大
サッカー場で行われた前期
最終戦の東洋大戦では、1
-1で引き分けた。
前半27分、ゴール右で若
杉拓哉(体専4年)からポ
ールを受けた北川(同2
年)がペナルティエリア外
からポレーシュート。左サ
イドネットに突き刺し先制
した。
だが直後の31分、左サイ
ドを突破されゴール前へ
ボールを送られるとマーク
が乱れ、フリーでシュート
を打たれてしまい同点とさ
れた。
【試合前から後半勝負だ
と話していた】(小井土監
督) こともあり、後半は攻
勢をかけた。18分に左サイ
ドから三丸(同4年)が
ゴール前に送ったパスに戸
嶋祥郎(同2年)がシュー
トを放つと、チャンスは増
えたが、最後まで得点につ
なげることができなかった。
小井土監督は「失点の場
面は守備の人数は足りてい
たのに相手に寄せきれな
かった」と悔やんだ。また



ポレーシュートで先制点を決めた北川(6月13日、
東洋大戦で)

蹴球部主将 早川

J1新潟に加入

蹴球部主将の早川史哉
(体専4年)が来季からJ
1・アルビレックス新潟に
加入することが発表され
た。7月8日の記者会見で、
「チームに不可欠で、試合
の流れを奪えられる選手に
なるのが目標。子どもたち
に夢や感動を与えたい」と
抱負を語った。
早川はアルビレックス新
潟ユース出身で、筑波大進
学後は1年生時からレギュ
ラーとして活躍。現在は主
にセンターバックを守る
が、攻撃的なポジションも
こなせる。170cm、70kg。

ジャパンオープン 2015

背泳ぎ勢健闘

齋藤僅差で表彰台逃す

水泳

【東京辰巳国際水泳場(東
京都江東区)で山野辺拓
実(社会学類2年、写真も)



表彰台を狙い、前を追う齋藤(手前)(5月23日、
東京辰巳国際水泳場で)

ジャパンオープン2015
が5月22-24日に行われ
女子200m背泳ぎで齋藤
ゆり子(体専1年)が4位
西脇怜奈(同1年)が5位

に入賞した。
齋藤はスタート後には
若干の遅れがあったもの
の、徐々にペースを上げ
150m地点では3位につ

けていた。だが「3位にな
れると意識し過ぎ、残り50
mで力んでしまった(齋
藤)。スピードを上げられ
ず後続の選手に抜かれ、3
位から0.5秒差でフィ
ニッシュ。僅差で表彰台に
は届かなかった。西脇は齋
藤にリードして50m地点を
ターントしたが、それ以降は
齋藤を追う形に。齋藤から
0.61秒遅れてゴールした。
齋藤は「ベストに近いタ
イムで泳げた良かった。表
彰台に立てなかったのは悔
しいが、落ち込んででも仕
方がない。9月のインカレで
チームに貢献できるように練
習したい」と話した。

記録ファイル

- ◆体操 東日本学生選手権(5月22-24日、神奈川県立体育センター)
 - 【男子】▽団体総合 3位▽個人総合 宮地秀享(体専3年) 117位▽跳馬 榊原颯太(同4年) 114位、星野力維(同3年) 115位▽平行棒 星野力維 116位▽鉄棒 宮地秀享 113位
 - 【女子】▽団体総合 113位▽個人総合 井上和佳奈(同2年) 114位▽段違い平行棒 井上和佳奈 112位、山元加奈子(同2年) 117位▽平均台 井上和佳奈 114位、新井菜央(同1年) 117位
- ◆漕艇 <全日本軽量級選手権(5月22-24日、戸田漕艇場)
 - 【男子】▽ダブルスカル 木村光里(同3年)、小原有賀(同2年) 11優勝
 - <東日本選手権(6月27-28日、戸田漕艇場)
 - 【男子】▽シングルスカル 越智寛太(同4年) 11優勝▽舵手無しクワドルプル 碓合駿寛(体専3年)、岡崎俊樹(心理3年)、中筋来人(工シス3年)、古原将暉(体専1年) 118位
 - 【女子】▽舵手付クワドルプル 木村光里(同3年)、小原有賀(同2年) 11優勝

「使用料一律は不平等」

自己負担で設備改良も検討を

藤井准教授
 筑波大学の学生宿舎は老朽化などが原因で、2年以上継続して入居を希望する学生が近年減少している。宿舎の住み心地を改善し、入居者の満足度を上げる手段はあるのか。都市計画などが専門の藤井さやか准教授(シス情系)に話を聞いた。

「住環境」の評価は時代と共に変化する。今は「古い、狭い」と言われる宿舎だが、約40年前の設置時は「ぜいたくすぎる」という声さえあった。木造の平屋に住む人も多い中、大学がコンクリート造りで個室が完備された住居を学生に提供するのは異例だった。

今は生活水準が上がっており、相対的に宿舎の住環境は低く評価されている。40年前の建築物の住環境を現代の水準に合わせるのには難しいが、使い方や住居選択方法には改善の余地がある。

例えば、通常の集合住宅では部屋の階数で家賃に差がつくが、宿舎では入居者が部屋を選べず、どの階も使用料が一律だ。宿舎にエレベーターがなかったり、5階の部屋にはエアコンが設置できないなど上階ほど利便性が低く、これでは不公平だろう。上階の使用料を安くするのが妥当だ。

更に、学生がある程度部屋の希望を出せるようにすれば「家賃をなるべく安く抑えたい」「多少高くても住みやすい部屋がいい」といった学生の要求に合わせやすくなる。家賃の差額の設定や、学生を部屋に振り分ける仕組みを構築するのは手問がかるが、不可能ではないはずだ。

設備の改善には、UR都市機構が管理する「DIY住宅」を参考にしている。同住宅では、一定の範囲内ならば居住者の自己負担で部屋の設備の改良が認められている。改良の例は壁紙の張り替えや収納の設置など

宿舎を問う

原則、改良した設備は退去時に元に戻さなくてはならない。

宿舎でも同様の制度を作れば、大学が資金を出さずに部屋の設備を改善でき、入居者の満足度も向上するはずだ。

だが建築物を永久に使うことはできないため、将来的には宿舎の建て替えが必要だ。近年、筑波大周辺にアパートが増えたり、つくばエクスプレスの開通で実家から通学しやすくなるなど居住形態の選択が増えた。大学は現在の宿舎を取り巻く状況を再認識し、規模縮小も含め宿舎のあり方を検討すべきだ。

記者の目

筑波大学は、平砂地区に留学生と日本人学生のシェアハウス型宿舎「インターナショナルハウス(仮称)」を新設するほか、短期滞在の留学生向けに今後1の矢地区の宿舎棟5棟を改装するなど、留学生支援を基本に宿舎の整備を進めている。だが、留学生用の宿舎整備に比重を置く大学の方針に、私は異議を唱えたい。

本紙は4月、学生宿舎の老朽化が進み、学生から不満が出ていることを報じた。私自身も入学してから2年間宿舎に住んだが、老朽化が進んでおり、壁にカビが生えたり床がはがれるなど、環境の悪さに悩まされた。

だが筑波大は、予算不足で既存の日本人用宿舎を改修する予定は無いという。同ハウスが設置されるのは、テニスコートを挟んで最も老朽化が進んだ棟の向かい。同ハウスが新設された後、既存の棟の環境の悪さが際立つのは避けられない。

大学は、留学生だけでなく日本人学生も気持ちよく住めるよう、早急に対策を打つべきだが、その際、藤井准教授の意見を参考にしたい。どうか、同准教授は、階数などにより環境に差がありながら、学生が部屋を選べない現状の問題点を指摘。部屋によって家賃を変えたり、入居者が部屋の設備を自由に改良できるようにする制度の導入を提案した。

この提案の利点は、日本人用宿舎の改修や新設が予算的に厳しくても、比較的実施しやすいことだ。日本人学生の不公平感を少しでも軽減する取り組みを期待したい。(添島香苗、写真も)



最も老朽化が進む平砂未改修棟の部屋 (4月3日撮影)

留学生との格差是正を

留学生の目



キム・ドンヒョク

初めて来日した時、春だと思って油断していましたが、つくばの4月は結構寒かった気がします。7日には雪が降り、びっくりにして冬服を送ってもらいました。

ですが、春学期が始まるころには、寒さなど感じられないほどの筑波大学のキャンパスの熱気に圧倒されました。特に、学力至上主義が蔓延し、生活活動に厳しい韓国と違い、日本の学生のサークル活動はあまりにも活性化しています。

この提案の利点は、日本人用宿舎の改修や新設が予算的に厳しくても、比較的実施しやすいことだ。日本人学生の不公平感を少しでも軽減する取り組みを期待したい。(添島香苗、写真も)

初めて来日した時、春だと思って油断していましたが、つくばの4月は結構寒かった気がします。7日には雪が降り、びっくりにして冬服を送ってもらいました。

ですが、春学期が始まるころには、寒さなど感じられないほどの筑波大学のキャンパスの熱気に圧倒されました。特に、学力至上主義が蔓延し、生活活動に厳しい韓国と違い、日本の学生のサークル活動はあまりにも活性化しています。

最初は少し迷いましたが、今では一番良い選択だったと思っています。講義形式の授業と違い、サークル活動をしながらも皆さんと触れ合いながら勉強できるという、素晴らしい経験をしています。皆さんも、外国に語学以外の勉強のために留学に行くのでしたら、おススメです。

自由時間には、「ほぼそこに住んでいる」と言われるほど、中央体育館の第1・第2トレーニング場で、頭にタオルを巻いて「Imagine the future」の言葉を胸に、自分ももっと頑張ります。(社会学類特別聴講生キム・ドンヒョク、原文も日本語)

筑波大に誇り持って

散歩で防犯活動 来年度も継続へ

犯罪防止や市民の防犯意識の向上を目的に、ジョギングや散歩しながら防犯活動を行う「ジョギングパトロール」(ジョグパト)が、今年も継続されることになった。

7月のジョグパトは24日15時からイーストくは(つくば市研究学園)周辺で行われる予定だ。

問い合わせはつくば市危機管理課(つくば市研究学園、電話・029-88331111)。

2000人の参加者を募集したところ定員に達した。同署によると、今年は更に多くの参加者を募集している。

同署は「自分の都合に合わせて無理なく活動できることが魅力。学生もぜひ参加してほしい」と呼びかけている。

在任の、高校生を除く18歳以上であれば誰でも参加可能。登録後に市から支給されるビブスを着用し、ジョギングやウォーキングをするだけで防犯活動ができる。昨年9月に行われたジョグパトの出発式では、

「事前手配などが大変だったが、『来年もここで会おうと思うから』がんの手術や治療を頑張れる」という参加者の言葉が背中を押した。このイベントがずっと続いてほしいと話した。(深作歩美、写真も)

ネパール震災支援イベント開催



イベント後、募金に協力する参加者(5月22日、3A棟で)

被災地が舞台の映画上映

今年4月に起きたネパール大震災で被災した人々を支援するため、映画上映イベント「ネパール支援チャリティ映画祭」が、5月22日に3A棟で行われた。

イベントを主催したのは、筑波大学の学生団体「CLOVER」。CLOVERは、難民申請者が住する東日本入国管理センター(茨城県牛久市)を定期的に訪れ、収容者に日本語指導などを行っている。

ネパールは、厳しい経済状況下でも多くのチャット難民を受け入れてきた国だが、震災で大きな被害を受けた。死者は80000人を超え、ネパールの人口の約3割にあたる約8000万人が被災したという。

上映されたのは、ネパールが舞台の映画『オロ』。中国共産党の支配から逃れるためネパールに亡命した

チベットの少年「オロ」が主人公のドキュメンタリー映画だ。来場者は、ネパールの困難な現状を描いた映画に真剣な眼差しを向けていた。

上映後、ネパール出身のビビン・スベディさん(物理専攻1年)は「ネパールではいまだに水や食料の不足が深刻だ。こうした支援活動に協力し、祖国の復興の力になりたい」と語った。CLOVERの会長の清水弘慈さん(物理3年)は「多くの来場者が募金に協力してくれて感謝している。ネパールや難民問題について考えるきっかけになれば」と話した。(林健太郎、写真も)

イベントでがん啓発

850人集まる

参加者が夜通し歩き続けることを通じ、がん患者の支援とがん啓発を呼びかける「リレー・フォー・ライフ ジャパン2015茨城」が、5月16・17日に研究学園駅前公園(つくば市学園南)で行われ、約80人のがん患者を含む約850人が参加した。

イベントは、がん患者への支援や若手医師育成のための募金の呼びかけなどが目的。公益財団法人日本対がん協会と「リレー・フォー・ライフ ジャパン茨城実行

委員会が主催し、筑波大学とつくば市が共催しており、今年で6回目の開催だ。参加者は16日の午後2時30分ごろに、「希望」の意味を込めたハトの形の白い風船200個を一斉に空へ放ち、ウォーキングを開始。17日午前11時ごろまで、1周約5000mのコースを、「がんを負けない社会を作ろう」と書かれた横断幕を掲げながら、笑顔で絶えず交代で歩き続けた。

16日夜にはがん患者によるトークイベント「サイバ

実行委員長の宮本恭子さんが集まったという。

「がんを告知されたときの心境などを語る患者の話に、参加者は真剣に耳を傾けていた。実行委員会によると、2日間で約100万円の募金が集まったという。」



がんの啓発をする参加者(5月16日、研究学園駅前公園で)

「がんを告知されたときの心境などを語る患者の話に、参加者は真剣に耳を傾けていた。実行委員会によると、2日間で約100万円の募金が集まったという。」

「がんを告知されたときの心境などを語る患者の話に、参加者は真剣に耳を傾けていた。実行委員会によると、2日間で約100万円の募金が集まったという。」

求められる駐輪マナー

視覚障害者「怖い」

点字ブロック阻む

筑波大学の自転車の駐輪マナーの悪さが深刻化している。駐輪禁止スペースや点字ブロック上に自転車を停める学生が多く、災害時の避難経路の妨げになるだけでなく、障害を持つ学生の大きな負担にもなっている。学内を歩き、駐輪マナーの実態やその改善策を探った。(小宮山瑛生、山本勇太(社会学類1年、新田明夏(同3年))



「はみ出し自転車」を駐輪場に移す学生(6月15日、3A棟前で) = 小宮山瑛生撮影

6月15日の昼休み、第二・第三エリアで定点観察をした。すでに駐輪場は満杯。視覚に障害のあるスーダン出身の留学生ヒシャム・エルセル・ヒラル・サリさん(障科3年)は「学内通路にはみ出して駐輪する人もいた。」

中庭作り通路を確保



白岩善博教授

白岩善博教授(生環系)は2011年に生命環境系長に就任後、災害時の避難経路などの整備を、第二エリアを中心に行っている。白岩教授が整備を始めた当初、2C棟付近では避難経路まではみ出した駐輪自転車が多かった。だが、同教授らは東日本大震災の後、避難経路の重要性を再確認。同教授は「震災はいつ起きるかわからない。自転車が避難経路の障害になっている状況のままでは、助かる命も助からない可能性がある」と話す。そこで白岩教授が目指したのは、「2C棟の階段付

椅子を使用している山ノ上奏さん(同1年)は「スロープの下に自転車が置いてあり、降りられなかったところがある」と話す。障害学生支援室によると、同室は第一・第二・第三エリア、外国語センター、中央図書館周辺で学生や学生生活課の職員とともに駐輪マナーの徹底を呼びかけるキャンペーンを実施。同キャンペーンでは、ビラ



点字ブロック付きの避難路と中庭 = 生命環境エリア支援室提供

写真コンテスト展覧会 筑波大の風景を収める



写真を熱心に見つめる来場者(6月15日、大会館で)

筑波大学周辺で撮られた写真を募集するT・ACTの企画「筑波大学写真コンテスト」が15日、大会館で展覧会が行われた。応募作品全94点が展示され、筑波大のさまざまな風景をとらえた写真が展示室を飾った。写真コンテストは、普段何気なく見ている筑波大の景色を写真に収め、より多くの人と共有することが目的。自由写真部門、人物写真部門、スマホ部門の3部門がある。筑波大出身の写真家、青山裕佳さん(平成16年度人間学類卒)や永田恭介学長らが審査員を務め、18作品に賞が贈られた。自由写真部門で青山賞を受賞したのは三隅幸さん(芸専3年・ペンネーム「蒼」)。松美池周辺で大学の自然豊かな様子を撮影した。人物写真部門では待

つらい)、スマホ写真部門では廣川翔太さん(応理3年)の「pond」が受賞した。展示会初日の15日には、青山さんとのトークセッションが開かれた。青山さんは、写真の講評のほか、自身の筑波大での思い出や写真家になった理由、代表作「ソラリイマン」が生まれた経緯などを、ユーモアを交えて語った。青山さんはイベント後、「写真が好きな学生の力になれたと思う」と話し、「筑波大の建物や風景は素晴らしい被写体になる。スマホのカメラでうまく撮ってみたい」とメッセージを送った。(山野辺拓実 写真も)

探る tanbō



完成度の高いパフォーマンスを披露する構成員たち(6月13日、1E棟で)

ある日の放課後、文化系サークル会館の1室に、ギターやドラムの奏でる軽快な音で、ボーカルの力強い歌声が響き渡っていた。和気あいあいと、かつ真剣に練習に取り組む姿があった。現在、126人の構成員を抱える。筑波大学には5つの軽音楽サークルがあるが、その中で最大規模を誇る。構成員同士で自由にバンドを組み、主にロック音楽を演奏。月1〜2回

のライブに向け、演奏技術の向上に励む。毎週水曜のミーティングでライブに関する連絡などを取り、練習はバンドごとに進行。授業の合

習することもある。6月13・14日に1E棟で行われた自主開催ライブの1日目に足を運んだ。18組のバンドが出演し、日本のロックバンド

間に自主練習をしたり、ライブ直前には大学周辺のスタジオで深夜まで練習。完成度の高いパフォーマンスを披露する構成員たち(6月13日、1E棟で)

「ELEGANT」や「ONE OK ROCK」などの曲を演奏。また、毎年宿舎祭(5月)や学園祭(11月)でも演奏する。会長の久保聡太さん(社上3年)は「色々な人にライブを楽しんでもらう良い機会

E.L.L. (筑波軽音楽協会)

ライブ通し絆深める

「ELEGANT」や「ONE OK ROCK」などの曲を演奏。また、毎年宿舎祭(5月)や学園祭(11月)でも演奏する。会長の久保聡太さん(社上3年)は「色々な人にライブを楽しんでもらう良い機会

また、毎年宿舎祭(5月)や学園祭(11月)でも演奏する。会長の久保聡太さん(社上3年)は「色々な人にライブを楽しんでもらう良い機会

春季スポーツデー

8400人が参加

春季スポーツデーが5月16・17日に陸上競技場などで行われた。2日間で計約8400人が参加し、初夏の暑さの下汗を流した。学生委員会が用意したオリジナルスポーツなどで遊ぶ「学生委員会企画」では水風船をぶつけ合う「水合戦」など15種目が行われた。水合戦の会場では、参加者はびしょぬれになりながらゲームを楽しんでいた。サークルの友人たちと水合戦に参加した千葉裕平さん(社会学2年)は「仲間との親睦を深められたと思う」と笑顔で話した。(山野辺拓実 12面に関連写真も)

Who's Who?

タタール語オリンピックで入賞

中村瑞希さん (人文4年)



タタールの帽子をかぶる中村さん(タタールスタン共和国首都カザンで) = 本人提供

今年4月、ロシアの首都・モスクワの東南に位置するタタールスタン共和国へ渡り「国際タタール語・タタール文化オリンピック」の本選に臨んだ。タタール語はタタールスタン共和国などで使われる言語で、800万人程度が使用されると言われる。同大会はタタール語の知識や民謡などの技能を競うもので本選には約500人が参加。唯一のタタール語を母語としない出場者だったが見事入賞し、現地の人々を驚かせた。

日本生まれの日本育ち。だが日本人の祖父と結ばれた祖母は、在日のタタール人だった。祖母の手ほどきを受け、子どもの頃からタタール語の簡単な会話をこなした。耳の良さから外国語の歌もすぐに覚えてしまふ孫を面白がった祖母は、タタール語の民謡をよく歌い聞かせたという。

本格的にさまざまな言語を勉強し始めたのは高校時代。高校3年で英検1級を取得し、独学でドイツ語も学んだ。教科書はあまり使わず、世界中の人とSNS

大会唯一の日本人入賞 言語で未知の世界のぞく

問題を解く形式で、世界中から1万人以上が参加。通過者は約500人と狭き門だったが、無事合格し今年4月の現地での本選に進んだ。

本選では、タタール語の知識を問う筆記・口述試験に加え、実技試験としてタタール語での歌唱や踊り、そして自分の故郷についてのプレゼンテーションが課された。審査員と観客を前に行った実技試験では、日本の着物にタタールの伝統的な帽子を被って登場し、つくはを「石を投げれば研究者に当たる」とユーモアを交えて紹介。また、人生への嘆きを描いたタタールの民謡を哀愁たっぷりに歌い上げ、会場は大いに盛り上がったという。タタール語を母語とする他の参加者と言語力で勝負するのは厳しい。その分、日本人であることをアピールして差をつけようと思ったと振り返る。

入賞者35人の中で、唯一の日本人として脚光を浴びた。15件もの取材を受け、現地の新聞は「日本人でさえもタタール語を話す。何なる衝撃だ」と大々的に報道。出場者などから何度も何度も、一緒に写真を撮ってほしいと依頼された。

英語はもちろんロシア語、タジク語など、今まで学んだ言語は10以上。白地図上で、学んだ言語が使われている地域に色を付けている。夢は世界の全ての国に色を塗ること。現在は、クムク語というロシアの1地域で話される言語を学ぼうと教材を探している。アフリカの言語にも興味があるという。

言語を学ぶ中で知った外国の料理を食べるのも楽しみの一つだ。特に気に入っているのは「プロフ」というウズベキスタンの伝統的な米料理。羊肉やニンジンなどの具とニンニクがたっぷり入ったピラフのような料理で、自分でもよく作る。

「一つの言語を学んでいるときは、恋をしたような感覚。ただ習得するのはなく、その文化的側面にも目を向きたい」 (中村開二教育学科2年)

編集後記

ついに「明るいまちづく」り協議会が発足しました。会長の大澤義明教授(シンス)は、多くの人に使われる道を重点的に明るくする方針を示しています。▼大澤教授は「都市計画において、捨てる勇気を持つことも重要」と言います。全ての道に街灯を設置するのは不可能なため、人がよく通る場所に優先して街灯を設置し、より多くの人が安全に享受できるようにするを

うです▼物事を進める上で取捨選択を迫られることは少なくありません。ですが1面の筑波おろしや4面の筑波時評で紹介した、社会に必要な人材を育てるために教員養成系や人文社会学系を廃止、もしくは社会的要請の高い分野へ移行するいわば「文系を捨てる」文部科学省の動きは「勇気ある選択」とは思えず、疑問に感じます。▼批判的な目をもち、来号以降も「文系廃止」問題を追いかけていきたいと思います。(編集長・森脇 慎二社会学類3年)

次号は

10月5日(月)

発行予定です

「大学は美味しい!!」フェア



来場者に「ライスミルク」の説明をする北村教授(左) (6月2日、新宿高島屋で) = 森脇慎撮影

2面へ

吹奏楽団定期演奏会



ピエロの格好に扮し会場を盛り上げる団員 (6月6日、ノバホールで) = 加藤未悠撮影

3面へ

剣道 世界選手権



個人戦で準優勝し表彰を受ける竹ノ内佑也 (5月29日、日本武道館で) = 小野憲司撮影

8面へ

春季スポーツ・デー



水合戦を楽しむ参加者たち (5月17日、陸上競技場で) = 山野辺拓実撮影

11面へ

学内総合

学芸

スポーツ

学生生活